



花処 梅 観処 暦

2025
〈令和七年〉

向島百花園
香梅園
亀戸天神社

すみだ界限 行楽案内之図

すみだ観光サイト
<https://visit-sumida.jp>



一般社団法人 墨田区観光協会

今も残る江戸下町の風情と梅の香りをお楽しみ下さい

江戸中期は治世が安定し、人々の生活にもゆとりが出るようになり、四季折々の花を愛でる近郊への行楽が盛んになりました。なかでも、梅見は春を待ち焦がれる江戸市民には大人気で、市中の梅園には大勢の行楽客が押し寄せ、たいへんな賑わいを見せました。当時の人気梅園のひとつ向島百花園、そして、小村井梅園を復活させた香梅園、さらに、飛梅伝説で知られる亀戸天神社を中心に、梅情報を満載しました。



- ① 観光案内所
- ② 梅が楽しめる場所
- ③ 街あるき案内処
- 都営バス・京成タウンバス
- 墨田区内循環バス「すみだ百景すみまろくん・すみりんちゃん」
- 神社
- 文学校
- 消防署
- 寺院
- 警察署



木母寺と梅若伝説

貞元年間(976~78)の草創とされる天台宗の寺。平安中期、京都北白川に住む吉田少将惟房の子「梅若丸」が、信夫藤太という人買いに連れられる途中、12歳で亡くなった。高僧・行可阿闍梨が彼のために塚を築き、柳を植えて供養した。慶長12(1607)年、前の関白・近衛信尹が「梅」の異体字「梅」を「木」と「母」に分けて書いて以来、「木母」が寺号となった。

A 梅若伝説コース

木母寺に伝わる梅若丸の悲話に謡曲「隅田川」や小説となって、多くの人の涙を誘いました。

向島百花園
東白鬘公園
隅田川神社
木母寺
梅若塚

B 東京スカイツリー®散策コース

東京スカイツリーの周辺は、かつて小梅村と呼ばれ小梅橋や小梅児童遊園など名称が今も残ります。

東京スカイツリー
旧小梅村
牛嶋神社
桜橋
隅田公園

天神様と香梅園コース

「天神橋を渡ってお参りすると御利益がある」という古くからの言い伝えにしたがって歩きます。

錦糸町駅
亀戸天神社
伏見稲荷神社
境橋
小村井香取神社



向島 百花園

梅まつり

2/8(土)～3/2日

9:00～17:00 (最終入園16:30)

◆江戸大道芸

大黒舞、放下芸(ほうかりい)等の大道芸を披露します。
【日時】2/8(土)、2/24(月・振替休日) 11:40～13:00～15:00～(各回約30分)
【出演】浅草雑芸団 ※雨天中止

◆すずめ踊り

初代園主の佐原鞠出の地、仙台が発祥で、墨田区ゆかりの浮世絵師、葛飾北斎が描いた「北斎漫画」にも登場している「すずめ踊り」を披露します。
【日時】2/9(日)、2/16(日) 各日13:00～15:00(各回約30分)
【出演】福来雀 ※雨天中止

※その他のイベント情報は、ホームページ等で確認ください。

向島百花園WEBサイト



◆庭さんぽ～向島百花園の楽しみ方～
職員が向島百花園ならではの草花や庭園風景の楽しみ方をご紹介します。園内を散策して回ります。
【日時】2/23(日・祝)13:00～(60分程度)
【定員】10名(当日先着順) ※雨天中止

◆お茶会

本イベントでは初開催となる向島百花園茶会によるお点前の披露と抹茶の提供を行います。
【日時】2/22(土)、2/23(日・祝) 各日10:00～16:00(各回30分程度、入替制)
【定員】各回13名(当日受付)
【参加費】1席1,000円(入園別途)
【参加方法】19:30～15:30まで、御成座敷前にて受付。(各回定員に達し次第、受付終了)



墨田区東向島3-18-3
●交通 東武スカイツリーライン/「東向島」駅下車、徒歩8分。京成電鉄押上線/「京成曳舟」駅下車、徒歩13分。都バス/「亀戸-日暮里(里22)」「百花園前」下車、徒歩3分。駐車場なし。
●開園時間 9:00～17:00(入園16:30まで)
●入園料 一般150円、65歳以上70円
●問合せ 向島百花園サービスセンター TEL.03-3611-8705



花見の名所として
文人墨客が
集った名園

●文化人のサロン
日本橋で骨董商人として財を成した佐原鞠出が武家屋敷であった3000坪ほどの土地を買い取り、かねてから親しくしていた文化人の大田南畝(二蜀山人、狂歌師)、亀田鵬斎(儒家)、谷文晁(絵師)、大窪詩仏(漢詩人)、加藤千藤(国学者、書家)らから寄贈された梅樹360株をはじめ、様々な樹木を植え、文化元(1804)年に梅園として一般公開した。併せて園内の梅の実から梅干を作り、名物として販売。これも人気を呼び、梅園は広く知られるようになった。

●江戸庶民の行楽地
「梅は百花にさきがけて咲く」ことから、人気絵師、酒井抱一が百花園と命名したと伝えられている。この賑わいから、当時は、亀戸の「梅屋敷」に対して「新梅屋敷」と呼ばれた。
さらに鞠場は、園内に祀ってあった福祿寿に着目し、桜餅が門前の名物であった長命寺の弁財天などを取り込み、谷中にして「隅田川七福神巡り」を提案。こちらも大いに当たり、隅田川東郊は江戸庶民にとって格好の行楽地の一つになった。
この時期は、ちょうど江戸町人文化が最も栄えた文化・文政期(1804～30)にあたり、人々は花と親しみながら茶を喫し、隅田川焼き(炭焼きの

●東京の名所に
園内にはその後も名花名草が集められ、現在は春秋の七草、初夏の紫陽花、初秋は萩のトンネルと、折々の草花を楽しむことができる。自然のままの趣は「風流の極致」と、東京の名所になっている。
一種)を楽しんだ。この評判を聞き、時の11代将軍・家斉、12代将軍・家慶もこの庭園を訪れている。

香梅園

梅まつり

2/15(土)～3/2日

◆すみだ親善大使の ◆琴の演奏
写真撮影会 ・2/15(土)、2/16(日) 11:00～
◆抹茶接待(有料) ・2/15(土)、2/16(日)11:00～



墨田区文花2-5-8
●交通 東武亀戸線/小村井駅下車、徒歩5分。都バス/「亀戸-日暮里(里22)」「文花2丁目」下車、徒歩5分。錦糸町-青戸車庫(錦37)上野 松坂屋前-平井駅(上23)「文花3丁目」下車、徒歩7分。
●問合せ 香取神社 TEL.03-3612-0878



梅まつり期間中、香取神社境内では梅にちなんだお菓子等が販売される。
小村井梅あんぱん
購入者には、特製スタッカーを配付



江戸時代の「梅屋敷」を復活！
香取神社の松原康行宮司
●小村井梅園がモデル
江戸末期、香取神社の近くに「小村井梅屋敷」と呼ばれた梅園があった。安藤広重の「絵本江戸土産」にも取り上げられ、大勢の人が梅見を楽しむ様子がかかっている。
広さは3300坪、園内には富士山に似せた築山や茶屋、池などが造られ、花の盛りには多くの人で賑わった。歴代将軍も訪れるほどで、将軍が愛でた「御成り梅」と称された木もあった。しかし、欧龍梅で知られた近くの「亀戸梅屋敷」と同様、明治43(1910)年の大洪水で、甚大な被害を蒙り、廃園となっていた。

●梅は目線で楽しむ
は、かねてから、この「小村井梅園」を何とか復活させたいと願っていた。平成6(1994)年、念願叶い、氏子の協力を得て、境内に選りすぐりの85種、120本の花梅の木を植え、「香梅園」と名づけて開園した。
香梅園の梅の木は高さが抑えられているのが特徴。
「桜は見上げて観賞してもいいが、梅は間近で観賞するもの。香りもいっしょに楽しむため、人間の目線、つまり目通り、が一番いいのです」と松原宮司はいう。
一歩進むと違う種類の梅があり、空を背景にその色彩や香りの変化を楽しむのが最高の梅見といえる。
ただ、枝垂れ梅だけは高くてもいい。花が目線まで垂れてくるからだ。これを基本に、梅の種類、お互いのバランス、開花時期などを考えて造園してあり、人気を呼んでいる。
また、木々には名札がつけられているので、同時に梅の知識も得ることができる。噂を聞きつけたファンが「香梅園には、どんな梅があるのか」と興味津津でやって来るが、珍種も含めて多さに驚き、感激するという。

梅まつり

2/20日～3/2日

15日は10:30～15:00、16日は10:00～15:00、16日以降は10:00～14:30(土・日)

亀戸天神社WEBサイト



梅まつり期間中、香取神社境内では梅にちなんだお菓子等が販売される。
小村井梅あんぱん
購入者には、特製スタッカーを配付

亀戸天神社



●「天神様」縁の社
太宰府天満宮の神官だった菅原信祐(菅原道真公の末裔)が、「飛梅」の木で道真公の像を彫り、諸国行脚の末、寛文元(1661)年、本所亀戸村にあった小さな社にこの像を奉祀したのが始まり。翌年、天神様を崇拝する四代将軍・家綱が、現在の場所に土地を寄進。太宰府天満宮の社に倣って社殿、楼門、回廊、心字池、太鼓橋などを創建した。道真公は政争に敗れ、延喜元(901)年、筑紫の大宰府政所に流され、失意のうちに客死した。京を発つ時、書斎から庭の愛梅を眺め、別れを惜しんで詠んだ歌はあまりにも有名。
「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」



●戦禍から復興
昭和20(1945)年の東京大空襲により、亀戸天神社は、御神庫1棟を残すまで焼失。その後、道真公を敬い、家紋も梅を使用している旧加賀藩前田家の子孫・前田利建氏が中心となって復興、梅も植樹し、現在、境内には約250本の梅がある。
心字池に架かる太鼓橋の参道、池の周り、参道の左右に藤棚があり、これらに沿って梅の木が植えられている。また、本殿の左右に欄間があり、向かって右に紅梅、左に白梅があり、囲いには、入試合格の願かけをした「絵馬」がびっしり掛かっている。
梅は、50種以上あり、1本の木から紅と白が咲く「思いのまま」もある。

白梅、紅梅
約250本
道真が愛した
梅の花がみごと！

その梅が主を慕って京都から大宰府に飛んで来て、根を下ろしたという「飛梅」の伝説が今なお残る。梅の花をこよなく愛し、5歳の時に詠んだ、「うつくしや 紅の色なる梅の花 吾子が顔にもつけたくぞある」に因んだかわいい童子の像が、境内中央の心字池の脇にある。

その梅が主を慕って京都から大宰府に飛んで来て、根を下ろしたという「飛梅」の伝説が今なお残る。梅の花をこよなく愛し、5歳の時に詠んだ、「うつくしや 紅の色なる梅の花 吾子が顔にもつけたくぞある」に因んだかわいい童子の像が、境内中央の心字池の脇にある。